

アドバイス集

全国でトラスト運動に取り組んでいる団体の方々から、これからはじめる方々へのアドバイスをいただきました。



全国からの寄付者と、斜里町民の協力なしにこれまでの発展はなかった。それに報いることを念頭に置きながら取り組むことが大切。

しれとこ100平方メートル運動推進本部
現：100平方メートル運動の森・トラスト



苦勞が多いことを覚悟して取り組んでほしい。努力すれば必ず報われるから、あきらめず、たゆまず、工夫していくことを勧める。

(財)トトロのふるさと財団 荻野豊
現：(公財)トトロのふるさと基金



農地保全の場合は特に農地法をどのように踏まえるかが重要。農家との連携、関係が作れるかどうかで立場が変わってくる。

手賀沼トラスト 坂巻宗男
現：(特活)手賀沼トラスト



つらいことが多いが、基本的に自らが楽しんでいることがだいじ。「継続は力」である。人と人のつながりなくては不可能。

天覧山・多峯主山の自然を守る会 浅野正敏
現：(特活)天覧山・多峯主山の自然を守る会



会の活動を様々な方法で広報する。財政を安定させるため、新入会員を増やしたり、行事で募金を呼びかける。会員相互に意見交換をする。

(財)鎌倉風致保存会
現：(公財)鎌倉風致保存会



一時的な派手なアピールでなく地道な活動で実績を積上げるのが一番。粘り強く続ける努力を。「継続は力なり」

(特活)北鎌倉の景観を後世に伝える基金 小林京子



基本的に出発点の気持ちがいじ。困難(社会の批判、家族の無理解等)に直面しながらも運動が自然で楽しいとの充実感で出発を。

中池見湿地トラスト 笹木進
現：(特活)ウエットランド中池見



行おうとする事業の目的を、多くの人々の賛同が得られるように、わかりやすく明快に説明できること。そして高い識見と豊かな経験を持ち、情熱と行動力があり、社会的に信頼されている人が中心となって、粘り強く実行すれば、目的は達成されるものと信じている。

(財)岡山県郷土文化財団 高山雅之
現：(公財)岡山県郷土文化財団



先祖代々受け継いだものを売る側の心情、苦勞を察しながら話す。お金のやりとりでない人と人の対面を大切に。

(特活)霧多布湿原トラスト 三膳時子
現：(特活)霧多布湿原ナショナルトラスト



トラストしたい場所をよく歩く。所有者の状況を地元で聞く。登記簿を写し地図に落とす。『トラスト』と目的を明白にして募金を行う。

(特活)赤目の里山を育てる会 伊井野雄二



当該土地価格がゴルフ計画当時は膨大であったため土地買い取りはせず、さまざまな手段で県に働きかけた。県の応援団に徹している。

小網代の森を守る会 宮本美織



目的をはっきりさせることと、細かいことにこだわらないおおらかさが大切だと思う。

(特活)蔵王のブナと水を守る会 仲村得喜秀



簡単にトラスト運動を始めると長期的な成果はあがらない。周囲の状況、会員の覚悟、必要性、資金のめど等を熟慮して行うべき。

(財)柿田川みどりのトラスト 漆畑信昭
現：(公財)柿田川みどりのトラスト



資金的な面を考えるとこれからは、行政に対し公有地化や法による規制の要請を推進すべきではないか。多くの団体との連携。誰でも活動に参加できる場の確保と雰囲気の醸成。

(財) グリーントラストうつのみや 松本功
現：(公財) グリーントラストうつのみや



目標を高く、少しずつそれに近づくこと。たとえ僅かでも行動すること。

大平宿をのこす会 羽場崎清人
現：(特活) 大平宿をのこす会



地道に継続できる努力をし、楽しめることも必要。

中道志川トラスト協会 内貴隆志



スタート時は保全の対象をあまり手広くせず、1、2に絞るほうがよい。短期間に結果を求めず、5年、10年でみるのがよい。

(財) せたがやトラスト協会 桑原裕
現：(一財) 世田谷トラストまちづくり



会費や基金の目的を明確にしておくこと。

(財) C.W.ニコル・アフアの森財団 野口理佐子
現：(一財) C.W.ニコル・アフアの森財団



大切なのは地権者との信頼関係だと思う。広く精神を理解してもらうためには自然解説や案内を丁寧におこなうこと。

(財) 天神崎の自然を大切にする会 玉井済夫
現：(公財) 天神崎の自然を大切にする会

アンケートにご協力下さった先駆者のみなさま、ありがとうございました。(団体名と名前は平成16年3月現在)

